

主な出来事

EVENT

2019年7～9月

| | 三重・愛知 | 全国・海外 |
|-------------|--|--|
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> ● 中部経済連合会と名古屋市は、起業家などが交流し、新技術を開発する拠点「ナゴヤ・イノベーションズ・ガレージ」を名古屋市・栄に開設。(7/8) ● 桑名市川口町に、周遊拠点「宿場の茶店 一(はじめ)」が開店。「桑名ブランド協議会」が運営し、特産品の販売で観光客をもてなす。(7/20) ● 農林水産省は、いなべ市内の養豚場で、家畜伝染病「豚コレラ」の感染を正式に確認。県は、この養豚場で豚の殺処分に着手。(7/24) | <ul style="list-style-type: none"> ● 日本政府は、半導体材料の韓国への輸出管理を強化すると発表。これまで韓国には手続きの簡略化など優遇措置を取っていた。(7/1) ● 地銀首位の横浜銀行と3位の千葉銀行が包括提携することで合意。個人から法人取引まで幅広い分野で提携し、業務の効率化を進める。(7/10) ● 世界で初めてクロマグロの完全養殖に成功した近畿大は、稚魚から成魚まで人口飼料だけで育てた「近大マグロ」を8月から出荷すると発表。(7/23) |
| フォーカス 8月 | <ul style="list-style-type: none"> ● 今年開港120周年を迎える四日市港では、四日市港まつりが開催。メインイベントとして、「海王丸」が入港し、20年ぶりに一般公開。(8/3～4) ● お盆期間に発生した三重県内の高速道路での渋滞が、昨年に比べて大幅に緩和したことが、中日本高速道路のまとめで判明。(8/19) ● 中部国際空港島(常滑市)に、愛知県国際展示場「アイチ・スカイ・エキスポ」が開業。空港直結型の展示場としては国内初。(8/30) | <ul style="list-style-type: none"> ● ホンダの子会社「ホンダ エアクラフト カンパニー」は、新型ジェット機の安全性を認証する「型式証明」を、中国航空当局から取得したと発表。(8/6) ● 韓国政府は、日韓の軍事情報包括保護協定(GSOMIA)の破棄を決定。日本がホワイト国から韓国を除外したことへの対抗措置との見方。(8/22) ● 主要7か国首脳会議がフランスで開催。世界経済の下振れリスクには「機動的・万全の政策対応」をとることで一致。(8/24～26) |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> ● 近鉄百貨店が来年2月末、近鉄四日市駅前で運営する商業施設「スターアイランド」の運営から撤退することが判明。(9/3) ● 三菱航空機は、スペースジェットの新機種「M100」について、米航空会社メサ航空から100機受注する方向で協議を始めたと発表。(9/6) ● 志摩市の英虞湾などで、真珠をつくるアコヤガイが稚貝を中心に大量死していることが三重県水産研究所の調査で判明。(9/6) | <ul style="list-style-type: none"> ● 米政権は、1,100億ドル(約12兆円)分の中国製品を対象に制裁関税「第4弾」を発動。中国も同時に米国の農産品などに報復関税を賦課。(9/1) ● 第4次安倍再改造内閣が発足。安倍首相は安定と挑戦の内閣と表現し、「全世代型社会保障検討会議」を新たにスタートさせる考えを表明。(9/11) ● ラグビーワールドカップ2019日本大会が開幕。北海道から九州まで12都市のスタジアムで、11月2日の決勝戦まで開催。(9/20) |

2019年10～12月の予定

| | 三重・愛知 | 全国・海外 |
|-----------------|---|--|
| 10月 ～ 12月 | <ul style="list-style-type: none"> ● 「豪商のまち松阪キャンペーン」が松阪市で開催。気軽に松阪牛を楽しむ食べ歩き特別企画「ぶちリッチde松阪牛」などを実施。(10・11月) ● 国内最大級の異業種交流展示会「メッセナゴヤ2019」がポートメッセなごやで開催。農業ビジネスに焦点を当てた新規事業を実施。(11/6～9) ● 第2回ONSEN・ガストロノミーウォーキングが、(株)三十三フィナンシャルグループの共催により菰野町 湯の山温泉で開催。(11/23) | <ul style="list-style-type: none"> ● 天皇陛下の御即位を公に宣明する「即位礼正殿の儀」が行われる。同日、お披露目のパレードとなる「祝賀御列の儀」が行われる。(10/22) ● セブン銀行は、次世代型のATM(現金自動預払機)を発表。9月から機種を順次入れ替え、顔認証を使った口座開設を開始。(10月下旬) ● 2020年の東京五輪・パラリンピックの、メインスタジアムとして使われる新国立競技場が完成予定。大会時には6万人を収容。(11月) |

フォーカス

お盆期間に発生した三重県内の高速道路の渋滞が、昨年に比べて大幅に緩和

お盆期間(8/8～18)に発生した三重県内の高速道路での渋滞が、昨年に比べて大幅に緩和したことが中日本高速道路のまとめで分かりました。

長年、渋滞多発ルートだった東名阪自動車道の四日市JCT(ジャンクション)―亀山JCT間での渋滞が激減していることから、今年3月に新名神高速道路の新四日市JCT―亀山西JCT間が開通し、交通量が分散したことが影響したとみられます。

関西方面に向かうドライバーが新名神高速道路の新区間を利用するようになっており、ダブルネットワークになったことでドライバーの選択肢が増え、交通の流れが変化してきていると、同社では分析しています。